

**聖霊降臨節第26週 主日礼拝**

2021年11月14日 第一礼拝(午前8:30～) 第二礼拝(午前10:30～) 第三礼拝(午後2:00～)

前奏	(新聖歌505)		
招きのことば	『マルコの福音書』10章13-16節	司会者	
開会の賛美	新聖歌23「父の神よ 夜は去りて」	一同	
信仰告白	『使徒信条』(スクリーン参照)	一同	
代表祈禱		司会者	
聖書朗読	『ヨハネの福音書』2章1-11節(新約p.178)	司会者	
黙想	(3分間の換気を行います)	一同	
説教	「 <sup>さいしよ きせき</sup> 最初の奇跡」	近伸之牧師	
感謝の献金	新聖歌298「主 <sup>まか</sup> に任せよ」	一同	
諸報告		司会者	
※頌栄の賛美	新聖歌61「御 <sup>みめぐ</sup> 恵みあふるる」	一同	
※祝福の祈り		近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-5)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)  
(演奏機の曲は、楽譜と違う表現で流れる事があります)

第一礼拝	司会：片山 勝三兄 集会：沼田佐代子姉	音響操作：近 ゆかり姉	献金カゴ：有志
第二礼拝	司会：近 伸之牧師 集会：長谷川睦子姉	音響操作：山岸あけみ姉	献金カゴ：森田 澄子姉
教会学校	担当：片山 初子姉		
第三礼拝	司会：片山 浩司兄 記録：牧師家	音響操作：近ゆかり姉、他	献金カゴ：猪爪 和美姉

**今週の暗唱聖句**

イエスはこれを<sup>さいしよ</sup>最初のしるしとしてガリラヤの<sup>おこな</sup>カナで行い、ご自分の<sup>じぶん</sup>栄光を<sup>えいこう</sup>現された。それで、弟子たちは<sup>あわ</sup>イエスを信じた。

(『ヨハネの福音書』2章11節)

**一年間で聖書通読**

11/15(月)	『伝道者の書』9～12章	『コリント人への手紙 第二』9章
11/16(火)	『雅歌』1～4章	『コリント人への手紙 第二』10章
11/17(水)	『雅歌』5～8章	『コリント人への手紙 第二』11章
11/18(木)	『イザヤ書』1～2章	『コリント人への手紙 第二』12章
11/19(金)	『イザヤ書』3～5章	『コリント人への手紙 第二』13章
11/20(土)	『イザヤ書』6～8章	『ガラテヤ人への手紙』1章
11/21(日)	『イザヤ書』9～10章	『ガラテヤ人への手紙』2章

個人、団体からの来信 [11/2(火)～8(月)] 2021年11月14日

教団紙「世の光」第854号および【東北宣教PROJECT】NL No.14/  
宣教会会議の資料【11月28日(主)開催】/PBAよりDVD/「北海道聖書学院通信」第92号/  
国外宣教カレンダー[注文者分]

**諸集会の報告**

11/7(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計1 成人男性1 幼児女子1 小学女子2 中学女子- 高校女子- 女児計3 成人女性-
聖餐第一礼拝 男3 女6	聖餐第二礼拝 男3 女9	11/10(水)   ネヘミヤ祈禱会 ※10月平均：男2 女6
聖餐第三礼拝 男4 女7	子ども 男児2 女児4	※11/12(金)有志で 村上福音キリスト教会を見学
男性合計8 女性合計20		
書道教室	11/8(月) 男2 女8(求1)	11/12(金)   金曜祈禱会 ※10月平均：男- 女3
家庭集会	11/8(月) 男2 女4	10月読書会【10/7(木)男1 女3】 10月こころテラス【10/16(土)男- 女6】

**諸集会のご案内**

	※月に一回、書道教室を開催		
	※月に二回、家庭集会を開催		
新潟山形僚禱会	11/17(水) 午後7:30	新聖歌：78, 278, 478	当番・献金カゴ：片山 初子姉
読書会	11/18(木) 午前10:00	教会堂	問い合わせ先：猪爪 和美姉
しゃべり場タビタ	11/19(金) 午後1:30	小山 千春姉宅	11～12月担当：佐藤 鈴子姉
金曜祈禱会	11/19(金) 夜	教会堂	
	※月に一回、婦人の集いを開催		
11/21(日) 聖霊降臨節第27週 (同盟教団の謝恩デー)			
第一礼拝 午前8:30～	司会：近 伸之牧師 集会：有志	音響操作：片山 勝三兄	献金カゴ：沼田佐代子姉
第二礼拝 午前10:30～	司会：近 伸之牧師 集会：渡邊 智子姉	音響操作：山崎 敬典兄	献金カゴ：倉島 幹夫兄
教会学校 午後1:00～	担当：近 伸之牧師		
第三礼拝 午後2:00～	司会：近 伸之牧師 記録：有志	音響操作：片山浩司兄、他	献金カゴ：片山健司兄、他
教会学校奉仕	11/7[佐藤兄] 11/14[片山姉] 11/21[近牧師] 11/28[佐藤兄]		
ゴミ・掃除当番	1週目[佐藤姉] 2週目[小林姉] 3週目[長谷川姉] 4週目[横堀姉]		
主日の予定	新聖歌：27, 299, 62 午後3時45分 定例役員会		

**報告**

**1. 礼拝の感謝**

主日礼拝の恵みを感謝します。みことばの恵みをかみしめ、分かち合しましょう。本日は教団の一斉防災訓練を行います。正午に実施する都合で、その時礼拝堂におられる方々で訓練をする形となります。また、第三礼拝において子ども祝福式を行います。幼子たちの健やかな成長を祈りましょう。

**2. 会堂建設について**

教会用地取得のための特別献金を先月末まで募りましたところ、有志からの献金がささげられました。感謝と共に報告いたします。また本日午後3時50分より、会堂建設準備委員会を行います。委員会の話し合いが守られるようにお祈りください。

**3.**

1それから三日目に、ガリラヤのカナで婚礼があり、そこにイエスの母がいた。2イエスも弟子たちも、その婚礼に招かれていた。3ぶどう酒がなくなると、母はイエスに向かって「ぶどう酒がありません」と言った。4すると、イエスは母に言われた。「女の方、あなたはわたしと何の関係がありますか。わたしの時はまだ来ていません。」5母は給仕の者たちに言った。「あの方が言われることは、何でもしてください。」6そこには、ユダヤ人のきよめのしきたりによって、石の水がめが六つ置いてあった。それぞれ、二あるいは三メトレテス入りのものであった。7イエスは給仕の者たちに言われた。「水がめを水でいっぱいになさい。」彼らは水がめを縁までいっぱいにした。8イエスは彼らに言われた。「さあ、それを汲んで、宴会の世話役のところを持って行きなさい。」彼らは持って行った。9宴会の世話役は、すでにぶどう酒になっていたその水を味見した。汲んだ給仕の者たちはそれがどこから来たのかを知っていたが、世話役は知らなかった。それで、花婿を呼んで、10こう言った。「みな、初めに良いぶどう酒を出して、酔いが回ったところに悪いのを出すものだが、あなたは良いぶどう酒を今まで取っておきました。」11イエスはこれを最初のしるしとしてガリラヤのカナで行い、ご自分の栄光を現された。それで、弟子たちはイエスを信じた。

説教メモ (第一・第二礼拝)

1. 奇跡の法則①“奇跡は人の求めで起こるのではない。神ご自身が初めから時と方法を備えておられる” 私たちが助けを求める前から、神はその苦しみを覚えておられ、想像もつかない助けを備えておられる。祈りは助けを得る手段ではなく、助けを益とするための道。神は言うことを聞かせる相手でなく、従うべき主。
2. 奇跡の法則②“奇跡を始められるのはただ神のみ。だが神は奇跡を完成させるために人を用いられる” 拒絶と見えるイエスの答えに、むしろ母は神の権威を見、信じた。そして給仕の者にも信仰が伝播していた。真の奇跡は、周囲の人々を信仰の世界へ巻き込む。そしてこの最初の奇跡は十字架へ繋がっている。

毎週土曜日 朝5:15～5:45 BSNテレビにて放送中  
 ☆24時間テレホンサービス『でんわ世の光』025(272)3592

11/20(土)ライブ・ラインのつどい in 滋賀・2  
 「喜び、祈り、感謝への招き」岩井基雄牧師、浜岡典子さん

滋賀県で行った無観客「ライブ・ラインのつどい」2回目の様子を紹介します。今回の「つどい」では、シンガーソングライターの浜岡典子さんがオリジナルのゴスペルソングを歌い、岩井基雄牧師が「喜び、祈り、感謝への招き」というタイトルで聖書のメッセージを語りました。

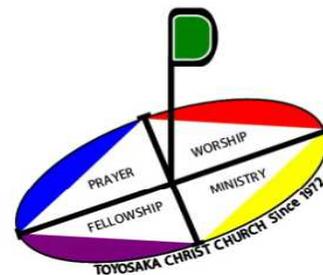


1889年11月14日、アメリカの若き新聞記者、ネリー・ブライ(右の写真)は、当時のベストセラー小説『八十日間世界一周』で主人公がたどったコース(上の地図)に従って、ニューヨークを出発。海路と陸路を駆使して、みごと72日間で世界一周を成功させた。まだ25歳であったブライによる歴史的快挙は、とりわけ小説の作者ジュール・ベルヌを驚喜させたという。ベルヌが小説で記したコースには日本も含まれており、実際にブライも5日間、東京・鎌倉・横浜に滞在した。回想録で、日本を「愛と美と詩と清潔の国」とたたえている。



教会目標 「現状をよく考え、主にゆだねる」

「あなたがたの歩みをよく考えよ。山に登り、木を運んで来て、宮を建てよ。そうすれば、わたしはそれを喜び、栄光を現す」  
 (『ハガイ書』1章7、8節)



日本同盟基督教団 新潟山形宣教区  
 豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15  
 TEL:025-387-4934 FAX:025-250-0155  
 ホームページ: <http://toyosakakyokai.net>  
 電子メール: [info@toyosakakyokai.net](mailto:info@toyosakakyokai.net)  
 ブログ: <http://toyosakakyokai.sblo.jp>